

ふれあい、広がる福祉の輪

― 障害者ふれあい広場 ―

好天に恵まれた5月16日、丹波自然運動公園で第44回障害者ふれあい広場が開催されました。スポーツコーナーでは、パン食い競争やざる引き競争などの個人競技のほか、玉入れや大玉ころがしなどの団体競技も行われ、南丹・船井チームは3連覇に挑みました。

南丹市身体障害者福祉会平井喜代子会長は「このイベントは全障がいの人が一堂に会する貴重な場。協力し合って競技を楽しみ、参加者の交流が深まれば」と期待しておられました。



▲大玉ころがしでゴールを目指す参加者

目指せ死亡事故ゼロのまち

― 南丹船井交通安全協会 ―

南丹支部総会

平成22年度の南丹支部総会を5月12日、日吉支所で開催し、各行政区選任の運営委員が出席。来賓の南丹警察署東交通課長は、市内で発生した交通死亡事故を解説し、「交通事故・死者数は減少傾向にあるが依然高齢者の関係する事故が多い。管内の事故減少に向け、皆さんの協力をお願いします」と述べられました。議事では平成22年度事業計画・予算が承認されたほか、役員の改選が行われ、関岡勉さんが南丹支部長に選任されました。



▲南丹船井交通安全協会木村会長のあいさつを聞く出席者

住民の提案で交通事故防止

― 黒田地区信号機完成 ―

府道園部能勢線―市道黒田中央線交差点の信号機が完成し、6月7日から供用を開始。これは黒田区が京都府の府民公募型安心・安全事業に小中学生の通学路となる交差点への信号機設置を提案されたもので、平成21年度は南丹市内から18機の提案があり、4機目の設置となりました。森区長は「念願の信号機が設置されてうれしい。区民に周知し交通事故防止につながれば」と期待されています。京都府では、平成22年度の提案を7月30日まで受け付けています。



▲信号機の完成で安全に横断する黒田区の皆さん

出水期を迎え危険箇所確認

― 南丹市防災パトロール ―

5月31日に京都府、消防署、警察署、消防団と市役所関係課で市内防災パトロールを実施。土砂災害防止法に基づく調査で特別警戒区域内に立地する神吉小学校の裏山、落石が発生した曹源寺（殿田）の裏山、主要道路である府道綾部宮島線の大野トンネル周辺における崩落危険個所の現地を確認しました。総括会議で佐々木市長は「市民の安心、安全な生活のため、関係機関が情報を共有し、万全の体制確保に努めたい」と協力をお願いしました。



▲曹源寺裏山で落石を確認する関係者